

# 令和3年度 学校経営報告

## 1 今年度の教育活動の取組みと自己評価

### (1) 学習指導

- 今年度も新型コロナウイルス感染症の広がりにより、一部自宅学習や時差登校・短縮授業等を余儀なくされたが、その間は課題等の対応で学習を保障した。
- 授業内容においては、例年どおり少人数指導を活用し、定時制教育の特色を十分に生かして生徒が「わかる授業」「できる授業」を目指した授業を行い、生徒の学習意欲と基礎学力向上に向け努力した。
- 感染症予防対策を徹底したうえで可能な限りの授業確保を行い、「年間授業計画」に基づいた意図的・計画的な教育指導を行った。
- 学校設定教科・科目「人権」「総合演劇」「朝鮮語」の授業及び「同和教育講演会」や「人権特設授業」により、生徒の人権意識を高める取組みの実施は図ることができた。コロナ禍の中、工夫をしながら、「同和教育講演会」を年間12回、保健講話についても1回実施し、多様な講師の講話から生徒の人権意識を高めることができた。
- 長期休業中及び定期考査終了後や学年末において、成績不振者や欠時数の多い生徒に対して補習授業や特別授業を実施した。

### (2) 生活指導

- 人権教育については、上記授業や講演会等により、人権尊重の精神と思いやりの心を育むため取組を行うことができた。また、「ケース会議」を年間25回程度実施することにより、生徒の状況に関わる情報を教員間で共有することができた。さらに、いじめや差別を許さない指導については、いじめに関するアンケート調査を年間3回実施し、ホームルーム担任と管理職が情報を共有した。気になる記述があった生徒については、個別に副校長が聞き取りを実施し、担任は面談によりいじめの防止や早期発見に努めた。
- コロナ禍の生徒の不安を払拭できるよう、生徒や保護者との連絡を密に行うよう努めた。
- 長期欠席者等への対応については、家庭訪問を丹念に行うなど保護者と連携した取り組みを行った。
- 日常の生活指導については、定期的なHR指導、校門指導、禁煙指導、交通安全指導等を組織的に継続して実施することができたが、近隣住民からの苦情を受けることもあった。

### (3) 進路指導

- 進路決定率については、ホームルーム担任、進路指導部が連携して進学指導及び就職指導を親身に行い、前年度に続くコロナ禍の困難な状況下で、最終的には昨年度同様、進路決定率76.0%を達成した。
- 進路指導と就労支援については、進路指導部及び各ホームルーム担任が連携し、進路面談指導を定期的実施した。また、ハローワークと連携して情報を共有するとともに、進路ガイダンス等の進路行事を実施した。
- 長期休業中の生徒の進路指導に応じた基礎学力の定着や資格取得に向けた指導については、就職希望者向けの個別指導等丁寧な指導を行うことができた。
- 採用選考における違反事例については、教育庁やハローワーク、東京労働局等関係機関と連携した組織的な対応を行うことができ、3件の事例を通報した。

#### (4) 特別活動・部活動

- 今年度はコロナ禍において、制限を設けながらではあるが南定祭（文化祭）や、球技大会等の学校行事を工夫しながら行うことができ、生徒の徒の心に残る教育活動を実践した。
- 生徒会活動については、役員（立候補者が定数となり、生徒の信任投票となった。弁論大会は例年と変わらず、8名の参加希望者があるなど、積極的に参加する意欲と自己表現能力を育むことができた。
- 部活動についてもコロナ禍ではあったが、総合体育大会に出場を果たし、柔道部（団体・個人4名参加、成績・個人3位入賞）、バスケットボール部（2回戦進出）、バドミントン部（成績・1部2位、2部1位）、サッカー部（1回戦敗退）の成績を収めた。
- オリンピック・パラリンピック教育については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、自宅での観戦を推奨し自国開催への意識喚起を行った。

#### (5) 健康づくり

- 養護教諭及びスクールカウンセラーを中心に、教育相談委員会を組織して情報交換会を月に1回以上実施した。教育相談会では、生徒の心と身体（健康状況）についての情報を共有し、指導・相談を連携して行うことができた。
- 新型コロナ対策として、マスク着用の呼び掛けやソーシャルディスタンスの徹底を図るとともに、生徒の使用した教室や特別教室、給食室等の消毒を徹底し、感染拡大防止に努めた。

#### (6) 生徒募集・広報活動

- 生徒募集活動については、感染症予防対策を施したうえで、本校での学校説明会を2回、個別申込者に対応した学校見学会を12回実施するなど本校の教育活動の特色をPRすることができた。また今年度は、中学校を訪問しての広報活動も実施した。
- 学校設定教科「総合演劇」の学習成果を発表する演劇発表会を2月に設定していたが、コロナ禍の為にビデオ撮影し、密を避け学年ごとにビデオ鑑賞した。

#### (7) 学校経営・組織体制

- 学校運営については、年間20回の企画調整会議を中心に適正に行うことで、教職員が学校経営計画の実現に向け、一体感をもって教育活動にあたることができた。また、入学選抜業務、就学支援金、奨学のための給付金、教科用図書補助金等の受給事務等を中心に、経営企画室と連携を密にした学校運営を推進した。
- 人権尊重教育推進校の取組みについてはコロナ禍の影響や中心となる教員の途中退職等があり、運営を心配したが、残った教員の工夫等により、「校内同和研修」をはじめとして、同和教育を中心とした人権教育の充実を図ることができた。
- 学校運営の成果と課題の把握については、学校運営連絡協議会協議委員の意見や学校評価の結果等を活用して学校運営の改善に役立てた。
- 防災教育については、年間4回の避難訓練の実施を中心に、コロナ禍による避難場所にての集合を設定せずに教室内で行う訓練や、放送を活用するなどの工夫を施した。
- 服務事故の防止については、年間2回の服務事故防止研修の実施を中心に適宜注意喚起を行うことで、体罰、個人情報等の紛失等の服務事故を防ぐことができた。引き続き、生徒、保護者、都民の信頼を損なうことのないよう、服務事故の防止と体罰の根絶に努めていく。
- 「ライフ・ワーク・バランス」の推進については、在校時間の縮減、会議時間の短縮な

どについて、管理職が中心となって取組み実践した。会議時間の縮減についても、議題に応じ効率的に時間の短縮を行った。また、産業医と連携し、安全衛生委員会を中心として、教職員の健康管理について相談体制の整備等労働衛生環境の整備を図った。

## 2 今年度重点目標の学校経営計画における数値目標と今年度の達成状況

### (1) 学校定着率、授業出席率を高める指導を徹底し、中途退学率を低減させる。

#### ▼ 学校経営計画における数値目標と達成状況

項 目	2年度実績	3年度目標	3年度実績
中途退学率	6.1%	10%以下	9.5%

### (2) 生徒一人一人の実態を把握し、生徒の学校生活の安定と学校生活満足度の向上を図る。

#### ▼ 学校経営計画における数値目標と達成状況

項 目	2年度実績	3年度目標	3年度実績
学校評価アンケートで「学校生活が充実している」とする生徒の割合	73.0%	75%以上	79.8%

(アンケートの数値は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒の割合)

### (3) 生徒一人一人に在り方生き方を考えさせるきめ細やかな進路指導により、進路確定者を増加させる。

#### ▼ 学校経営計画における数値目標と達成状況

項 目	元年度実績	3年度目標	3年度実績
進路決定率	76.0%	75%以上	76.0%

## 3 次年度に向けた教育活動における課題と対応策

### (1) 学習指導

- 新学習指導要領に基づく新しい教育課程や観点別評価の導入を円滑に行っていく。
- 引き続き新型コロナウイルス感染症の状況に応じて工夫をしつつ、定時制教育の特色を生かした少人数指導の効果的な授業実践において、「わかる授業」「できる授業」を目指し、生徒の学習意欲と基礎学力の向上に向けた努力を行っていく。
- 本校の教育活動の柱である同和教育を中心とした人権教育については、人権尊重教育推進校として、学校設定教科・科目「人権」「総合演劇」「朝鮮語」の授業及び「同和教育講演会」や「人権特設授業」により、生徒の人権意識を高める取組みの充実を図るとともに、「校内同和教育研修会」を年間2回以上実施し、教職員の人権意識を高めるための取組みを行っていくとともに、生徒の出席率を高めるための方策を検討していく。
- 補習・補講については、生徒個々の習熟の度合いや進路希望に応じて、普段の放課後をはじめ、長期休業中や定期考査終了後及び学年末に、補習授業や特別授業の取組みを計画的に実施していく。
- 授業改善については、生徒の基礎学力の定着を確実なものとするべく、学校評価の結果等を生かしながら、引き続き取り組んでいく。

## (2) 生活指導

- 人権教育については、上記授業や講演会等により、いじめや差別、暴力行為等を断じて許さない指導を引き続き行っていくとともに、いじめに関するアンケート調査を年間3回実施し、ホームルーム担任と管理職が情報を共有し、記述があった生徒については、個別の聞き取りや面談によりいじめの防止や早期発見に努めていく。
- 面談指導等のカウンセリング体制については、ホームルーム担任とスクールカウンセラーが連携していくとともに、長期欠席者への対応については、引き続き家庭訪問等を丹念に行い保護者との連携を進めながら、教員間で情報交換を綿密に行い課題解決に向けて取り組んでいく。
- 生活指導の徹底については、定期的なHR指導、校門指導、禁煙指導、自転車・バイク指導等に組織的・継続的に取り組んでいく。

## (3) 進路指導

- 進路指導と就労支援については、今後もコロナ禍の影響が予想される中、引き続き、進路指導部及び各ホームルーム担任が連携し、進路面談指導を定期的実施していくなど生徒の第一希望進路の実現に向けた取り組みを進めていく。また、ハローワークと連携して情報を共有し、進路ガイダンス等の進路行事を充実させていくとともに、基礎学力の定着や資格取得に向けた指導など、生徒の進路希望実現のために面談指導や補習を実施し、進路決定率の向上に努めていく。
- 生徒一人一人の就職の機会均等を保障するため、採用選考における違反事例については、今後とも毅然とした姿勢で臨むとともに、教育庁やハローワーク、東京労働局等関係機関と連携した組織的な対応を行っていく。

## (4) 特別活動・部活動

- 責任感と連帯感を育み、学校やホームルームへの帰属意識を高めるために、特別活動を活性化させるとともに、体育祭、球技大会等の学校行事を一層充実させる。また、自己表現能力や自己理解を深めさせるために、弁論大会の充実を図る。
- 今後もコロナ禍の影響が懸念されるが、可能な限りスポーツや文化に親しませ、豊かな人間関係を育むとともに、生徒の自主性を伸長するために、部活動への加入を促進する。また、東京都大会や全国大会等への出場を目指し、日頃の活動を活性化する。種目により全国大会への出場も視野に入れる。

## (5) 健康づくり指導

- コロナ禍の影響を踏まえて、生徒の心と身体の健康を維持するために、養護教諭が中心となり、ホームルーム担任や学校医と連携し、生徒の実態を踏まえた「学校保健計画」を作成する。
- 教育相談のための委員会を運営して情報交換会を実施し、生徒の心と身体の健康状況についての情報を共有し、生徒の心のケアの充実と不登校等の未然防止のために、指導・相談を連携して行っていく。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、生徒の日常の健康的な生活と心身の自己管理能力を高めるために保健体育科の授業や部活動等において体力の向上を図るとともに、給食の喫食率向上や、可能なら「校内カフェ」の取組等を活用した食育指導を推進していく。

## (6) 生徒募集・広報活動

- 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、第一次募集の応募者を増加させるために、積極的な募集活動を推進していく。
- 「総合演劇」の学習成果の発表の機会である演劇発表会を2月に実施するなど、本校の特色ある教育活動をPRするとともに、応募者の増加に向けて、学校公開や学校説明会等の生徒募集活動を積極的に行っていく。

## (7) 学校経営・組織体制

- 組織的・自律的な学校運営を適正に行うために、企画調整会議を中心とした学校運営を行うとともに、経営企画室の学校経営参画を積極的に推進していく。
- 同和教育を中心とした人権教育を一層充実するため、校内同和研修やフィールド・ワークを実施し、東京都人権尊重教育推進校の研究を一層推進していく。
- 体罰や個人情報の紛失等のサービス事故の発生により、生徒、保護者、都民の信頼を損なうことのないようサービス事故防止研修を実施し、サービス事故の防止と体罰の根絶に努めていく。
- 学校運営の成果と課題を把握するため、学校運営連絡協議会の協議委員及び生徒・保護者等による学校評価の結果を集計分析し、学校運営の改善に役立てていく。
- 保護者や地域との連携・協力を図るため、授業公開、保護者会等の学校行事の公開の機会を活用し、開かれた学校運営を推進していくとともに、近隣住民からの苦情については、丁寧に対応し理解を求めていく。
- 予想される大規模災害に対応するために、避難誘導等の体制を準備しておくとともに、関係諸機関と連携し、生徒の安全確保を最優先した防災対策を講じていく。
- 「ライフ・ワーク・バランス」を推進するために、在校時間の縮減、会議時間の短縮について引き続き推進していくとともに、産業医と連携し、安全衛生委員会を中心として、教職員の健康管理について相談体制の整備等労働衛生環境の整備を推進していく。

以 上